

DENSO

Crafting the Core

個人投資家向け 日興Web IR

(株)デンソー (東証プライム6902)

2024年11月26日

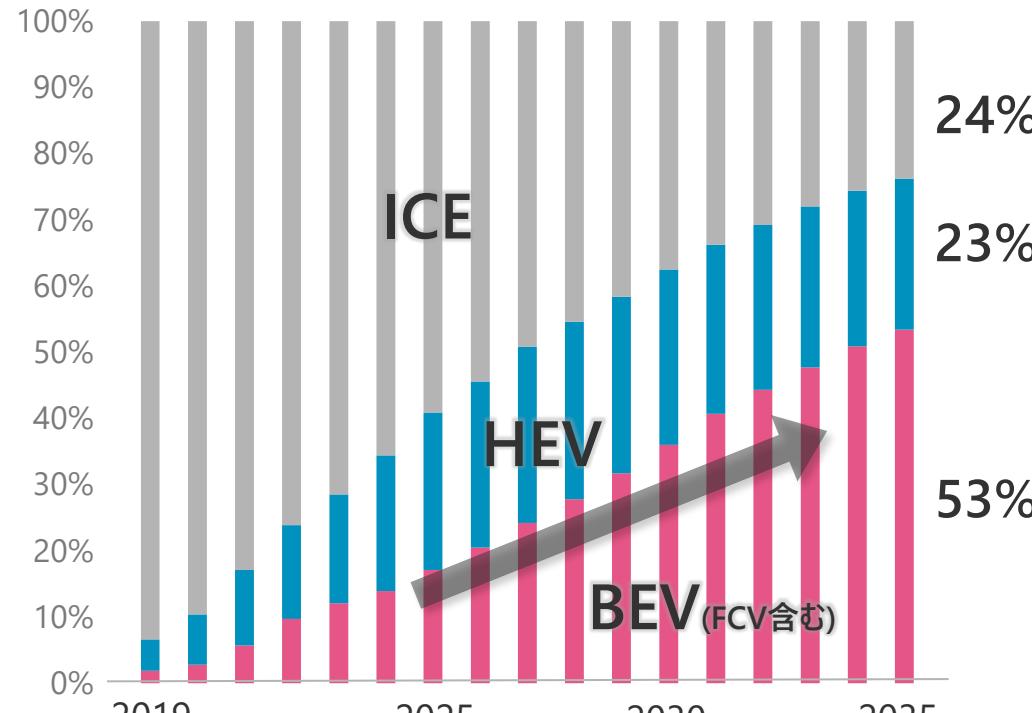
沼田 英人

コーポレート企画室 サステナ・IR課 課長



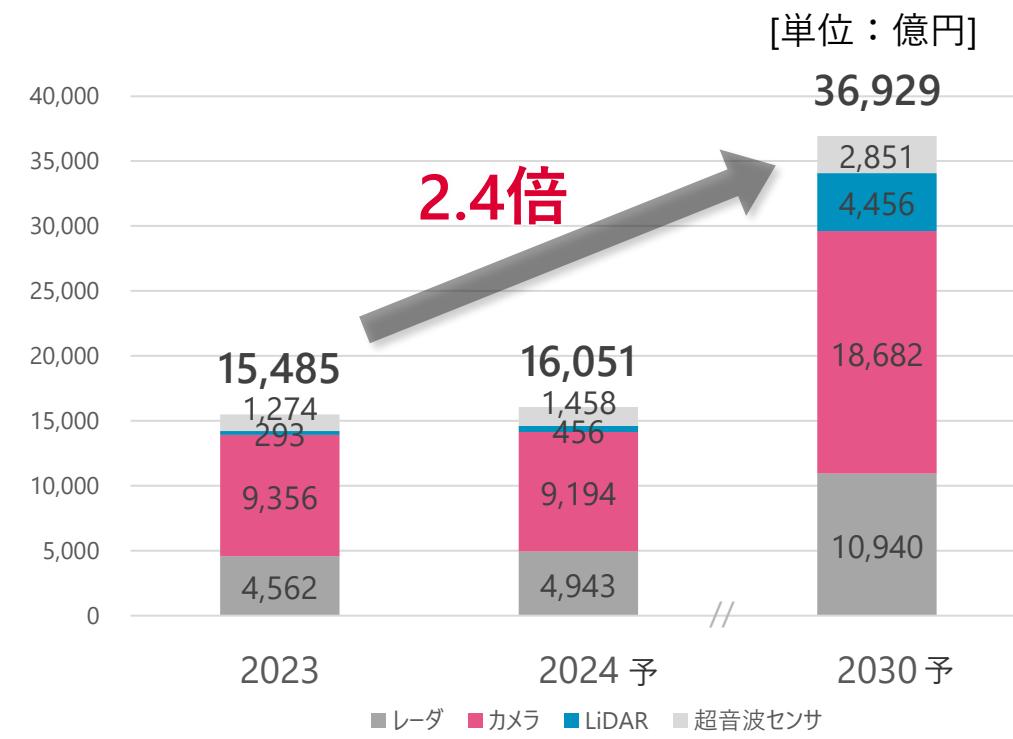
自動車業界の変化

■世界乗用車販売に占める各パワートレインの構成比予測



※出典：マーカーラインズ
2024年6月時点の予測データ

■ADAS/自動運転用センサの世界市場規模予測



※2023年6月矢野経済研究所より

新たなモビリティ社会に対応した価値を創造

Agenda

1. 会社紹介
2. サステナビリティ経営の推進
3. 3つのチャレンジ
4. 業績見通しと株主還元
5. お知らせ

1

会社紹介

会社紹介

設立
1,949年

自動車部品メーカー
売上ランクイング
世界2位

連結売上収益
7.1兆円

連結営業利益
3,806億円

全従業員数
16万人

海外売上比率
60%

グローバル拠点
35の国と地域

世界初製品
180以上

技能五輪国際大会
総獲得メダル数
77個

特許保有件数
3.9万件

時価総額
7.0兆円

株価
2,217円

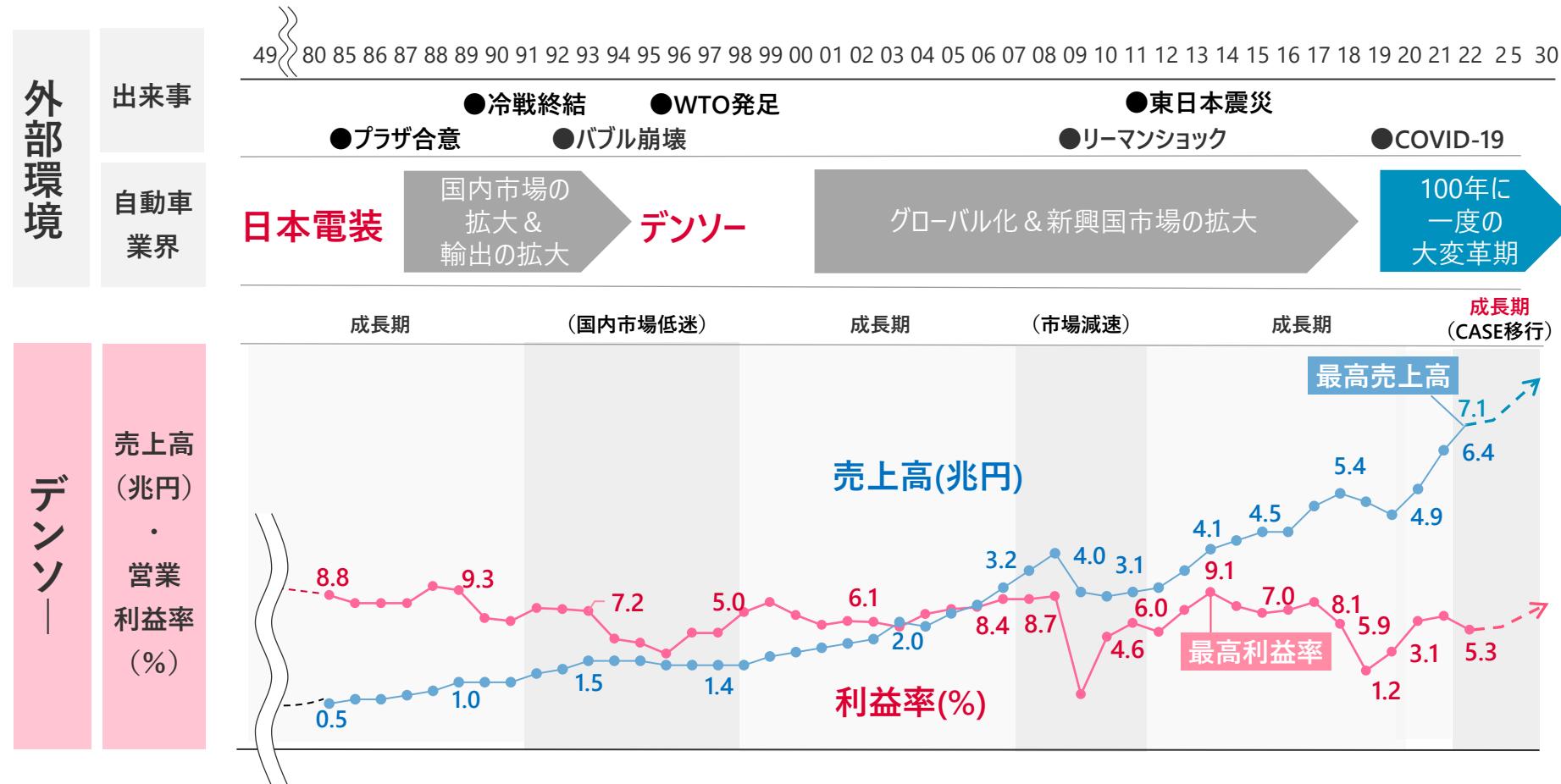
※2024年10月31日現在

※2024年10月31日現在

競争力の源泉となる“技術”でグローバルに大きく成長

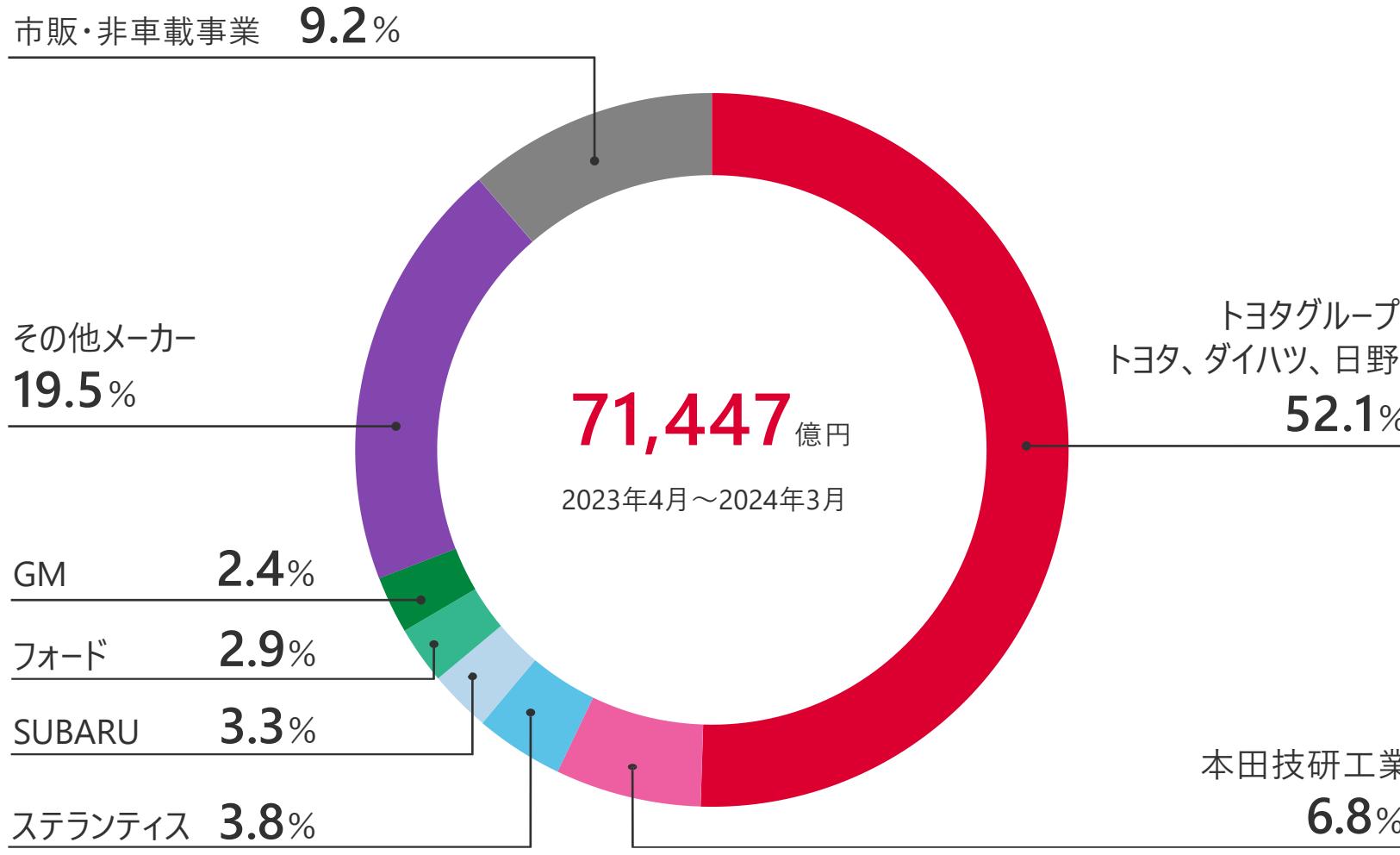
2024年3月31日現在

会社紹介（歴史）



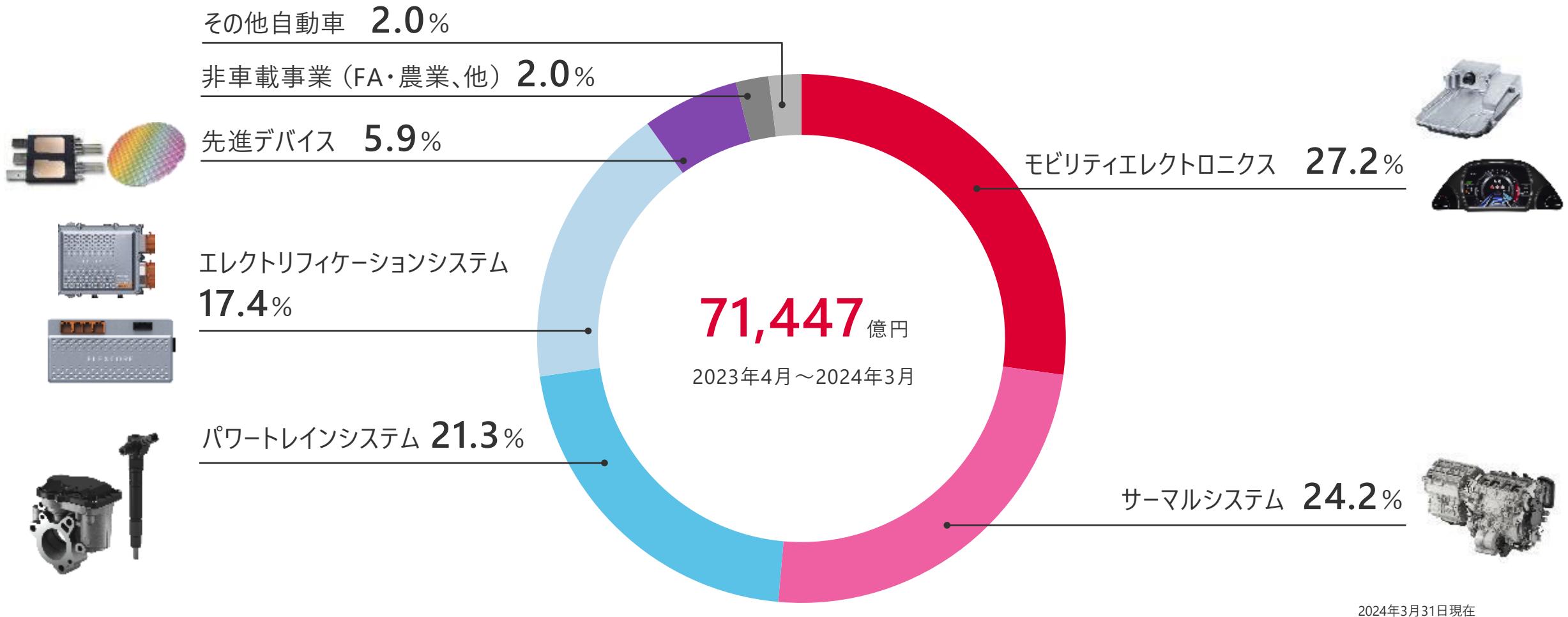
業界の大変革期をチャンスと捉え、更なる成長を目指す

会社紹介 (2024年3月期 得意先別売上収益)



トヨタグループのみならず、グローバルに幅広い顧客を持つ

会社紹介（2024年3月期 製品別売上収益）



事業グループのバランスのとれた売上構成

非車載事業における社会貢献事例（QRコードの開発）

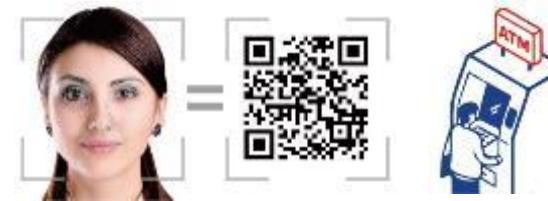
1. 駅のホームドア開閉制御

スキャナーがQRコードを読み込み、ホームドアを開閉。
鉄道の事故防止に貢献。



2. 生体情報を格納した顔認証システム

顔の特徴点をQRコード化、安全かつセキュアな認証で、
機密情報を扱う部屋、有資格者のみに限った現場への
入室が可能。



3. 長方形の新しいQRコード『rMQRコード』

細長く狭い所でも使用可能、読み取りしやすく、
多くの情報を格納



電子部品・電子機器
(トレーサビリティ)

医療分野
(安全管理)

デンソーが開発したQRコードが「広がり」新たな機能を備え「進化」

2

サステナビリティ経営の推進

サステナビリティ経営の推進（長期ビジョン）

環境・安心分野で
究極の「ゼロ」を目指す

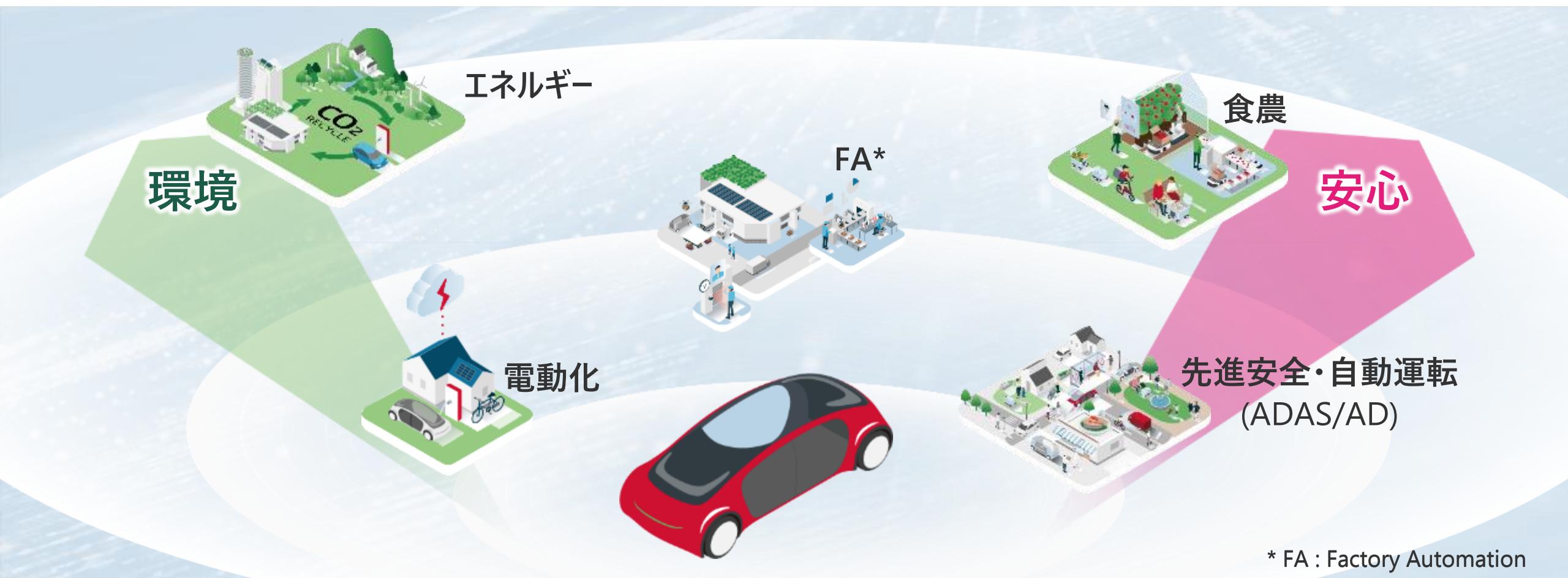


CO₂±ゼロ

交通事故
死亡者ゼロ

事業を通じて社会課題を解決する

サステナビリティ経営の推進（デンソーが実現したい未来）



モビリティを軸に、培った技術を幅広い産業や社会に広げ、人々の幸せに貢献

サステナビリティ経営の推進（取り組みへの外部評価・表彰）

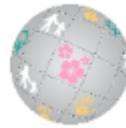
主なSRI/ESG投資インデックス



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指數



長期信用格付

格付会社	格付
R&I	AAA
S&P	A+
ムーディーズ	A2

(2024年11月26日現在)

IR活動への評価

統合報告書
最優良企業賞



INTEGRATED REPORT AWARD
2023

第3回日経統合報告書
アワードグランプリE賞



省エネ大賞14年連続受賞



PRIDE指標
3年連続GOLD受賞



「アマタ廃棄物管理賞」
9年連続受賞 (タイ)



※QRコードはデンソーウェーブの登録商標です

当社の事業活動は、国内外で数々の評価・表彰を獲得

3

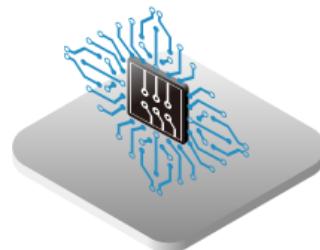
3つのチャレンジ



新価値創造
エネルギー・食農・FA



モビリティの進化
電動化・ADAS



基盤技術の強化
半導体・ソフトウェア

3つのチャレンジ



新価値創造

エネルギー・食農・FA

モビリティの進化

電動化・ADAS

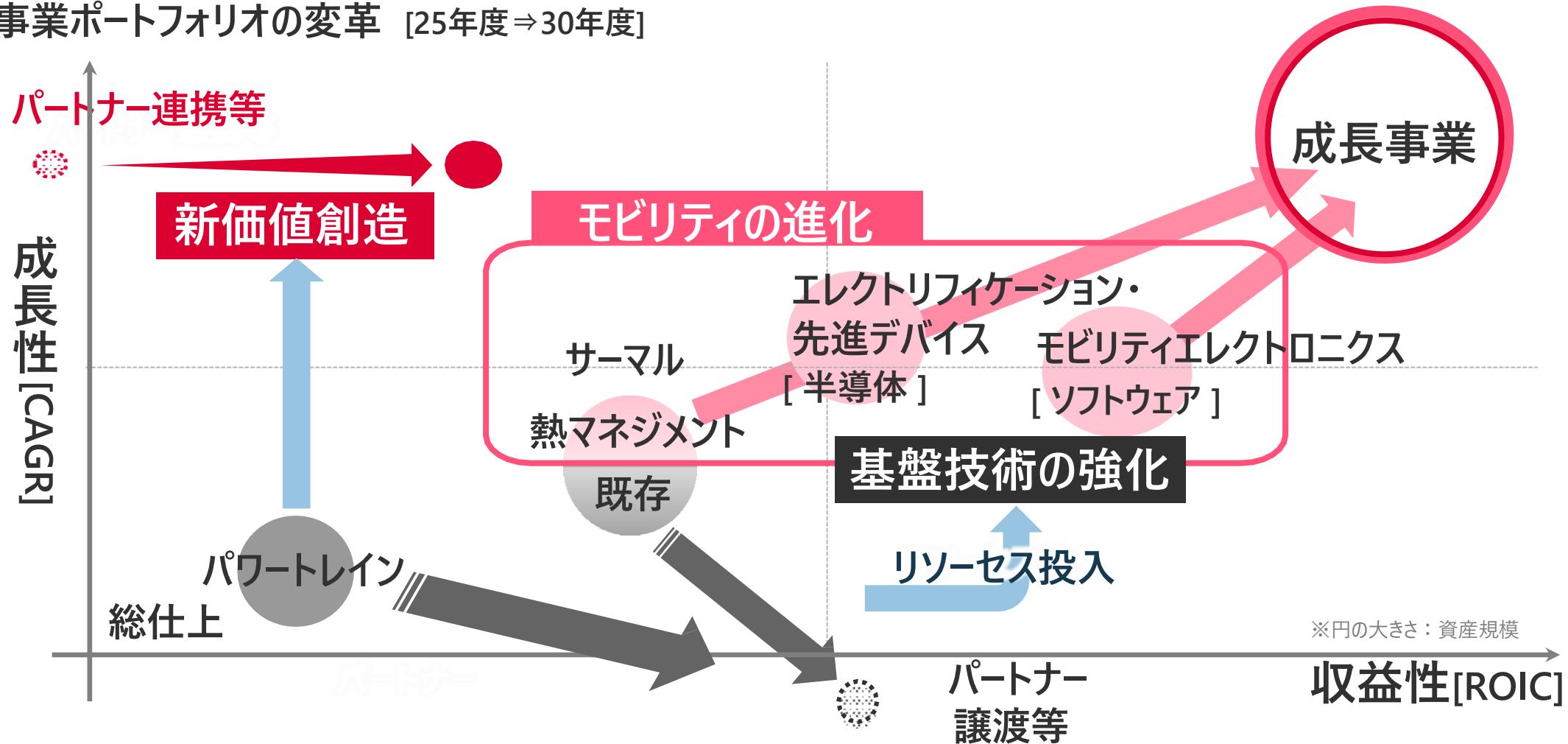
基盤技術の強化

半導体・ソフトウェア

3つのチャレンジを通じ、モビリティ社会の発展に貢献

事業進化の方向性

■事業ポートフォリオの変革 [25年度→30年度]



モビリティの進化、新価値創造を基盤技術であるソフトウェア・半導体が支える

モビリティの進化：電動化



モビリティの進化



電気自動車



ハイブリッド・プラグインハイブリッド



燃料電池車



電動航空機用
推進システム



電駆動



モーター
ジェネレーター

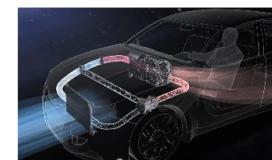
電駆動



インバーター

グローバル
シェア
No.1

熱マネジメント



ヒートポンプシステム

グローバル
シェア
No.1

電源



電源システム
(BMU)

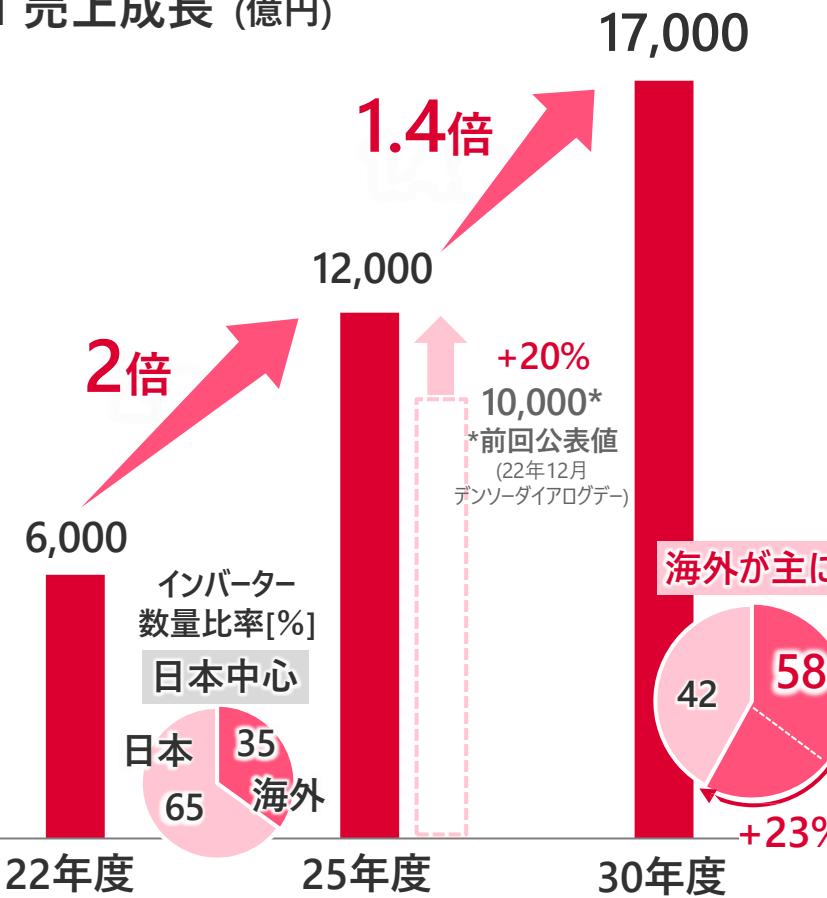
様々なクルマ・モビリティ製品に、市場浸透に適した製品を提供

モビリティの進化：電動化



モビリティの進化

■ 売上成長 (億円)



電動化進展

BEV拡大

差別化戦略

世界生産体制

製品競争力

実績で磨いた
技術力

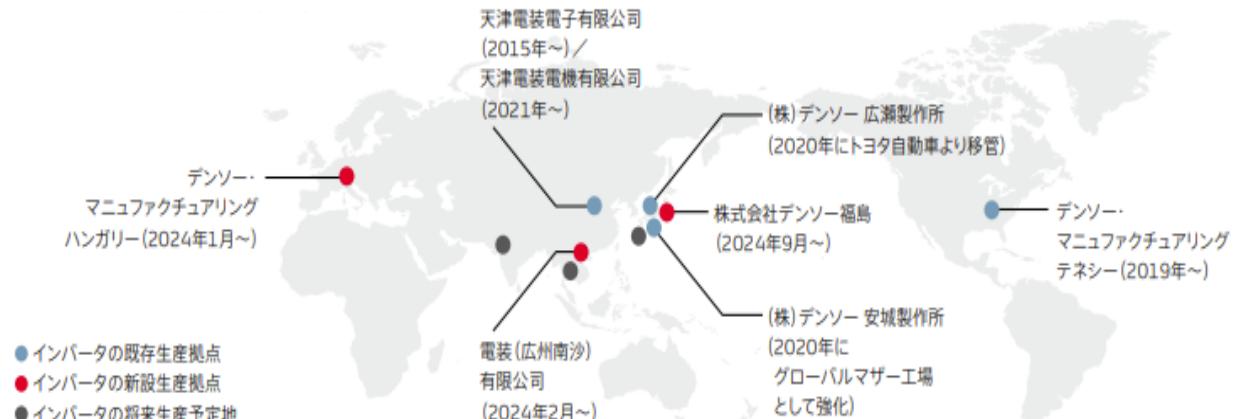
品揃え

多様なニーズへ
応える

モノづくり力

安城新工場で
開発期間1/2

あらゆる電動車に対応した電動化製品のグローバル生産拡大



培った「製品競争力」「品揃え」「モノづくり力」で成長を牽引

モビリティの進化：ADAS



モビリティの進化

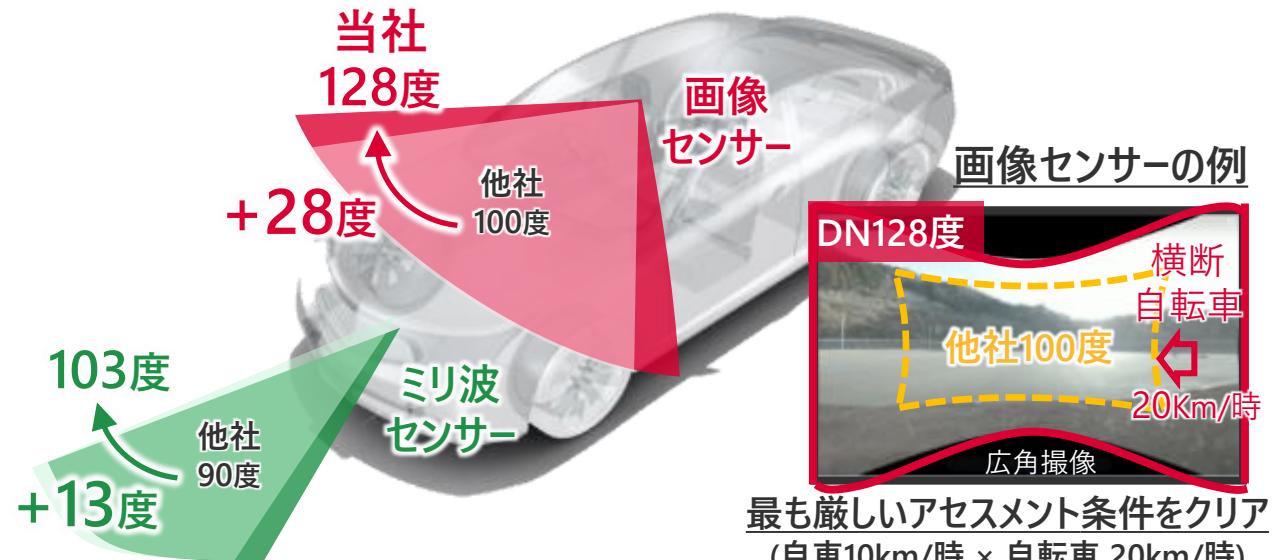


* LIDAR : Light Detection and Ranging

運転の「認知」「判断」「操作」を支援

センサー性能

急な横断に対応する為
より広範囲の物体を検知

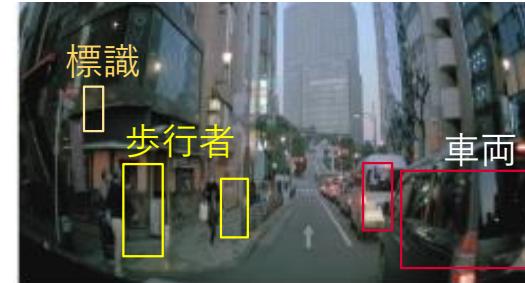


画像認識技術

検出性能向上の為
広範囲な画像データを高速処理

従来：物体の識別

個別に辞書(記憶データ)と照合



障害物として歩行者、
自転車、車両等を認識

新：シーンの理解

AIが画面全体を学習(Deep Learning)
⇒大きさ、向きなど関係性を理解



市街地、横断する男女
→相互関係によるリスク推定

人の視野角外へ検知エリアを拡大

予兆検知、次世代自動運転技術へも応用

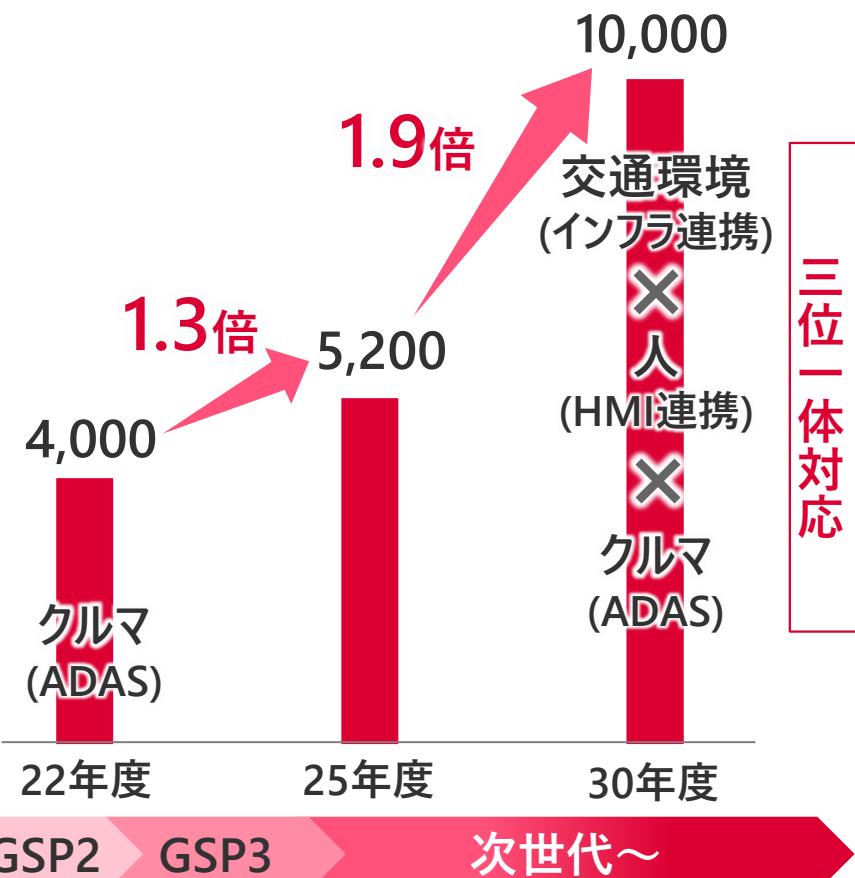
広範囲で物体を検知できるセンサー・画像認識技術

モビリティの進化：ADAS



モビリティの進化

■ 売上成長 (億円)



■ 実現アプローチ

安心価値最大化
[交通事故死者ゼロ]

深み
[対応シーン]

広がり
[普及]

普及

ADAS機能向上

HMI/インフラ連携

クルマ

人 交通環境

他

次々世代

GSP3 [22年～]
GSP2

GSP2

追突
横断歩行者

右左折
正面衝突

ヒューマンエラー
対応

視覚外
支援

事故
カバー率

37%
[22年度]

56%
[25年度]

80%
[30年度]

100%
[35年度]

技術と製品の品揃えで、安心貢献と持続的な事業成長を両立

新価値創造：水素エネルギー

■ カーボンニュートラル加速における課題



■ デンソーの強み

- ・高温下での電気↔水素変換を高効率かつ安定動作させる技術

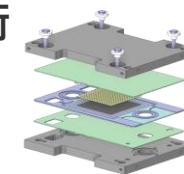
熱マネジメント技術



エジェクター技術



- ・高い変換効率を実現する先端材料技術
高度なセラミック微細構造



■ 水素を「つくる」「つかう」ための実証



デンソー 広瀬製作所
SOEC実証施設



デンソー福島
水電解装置実証施設

水素社会の実現に向け、水素を「つくる」「つかう」ための装置の効率性と耐久性を高め、高品質とコスト低減を両立するべく、西尾製作所や広瀬製作所、デンソー福島にて実証を開始

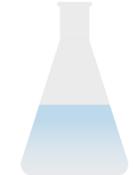
カーボンニュートラル加速のため、培ってきた熱マネジメント技術・材料技術を駆使して水素ビジネスに参入

新価値創造：食農

■ 食の安心・安全における課題

食糧需要 労働力不足 気象変動

資源不足



■ 安定的な生産に必要な要素



生育技術・ノウハウ



光・水・CO₂の最適化



自動化

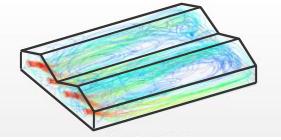
安定に収量増



生育に適した環境制御

■ セルトングループとのパートナーシップ

2023年 完全子会社化



今後生産困難地域での、空調技術を活かした農業モデルを開発
高い生産性の農場を実現(農場の工場化)する

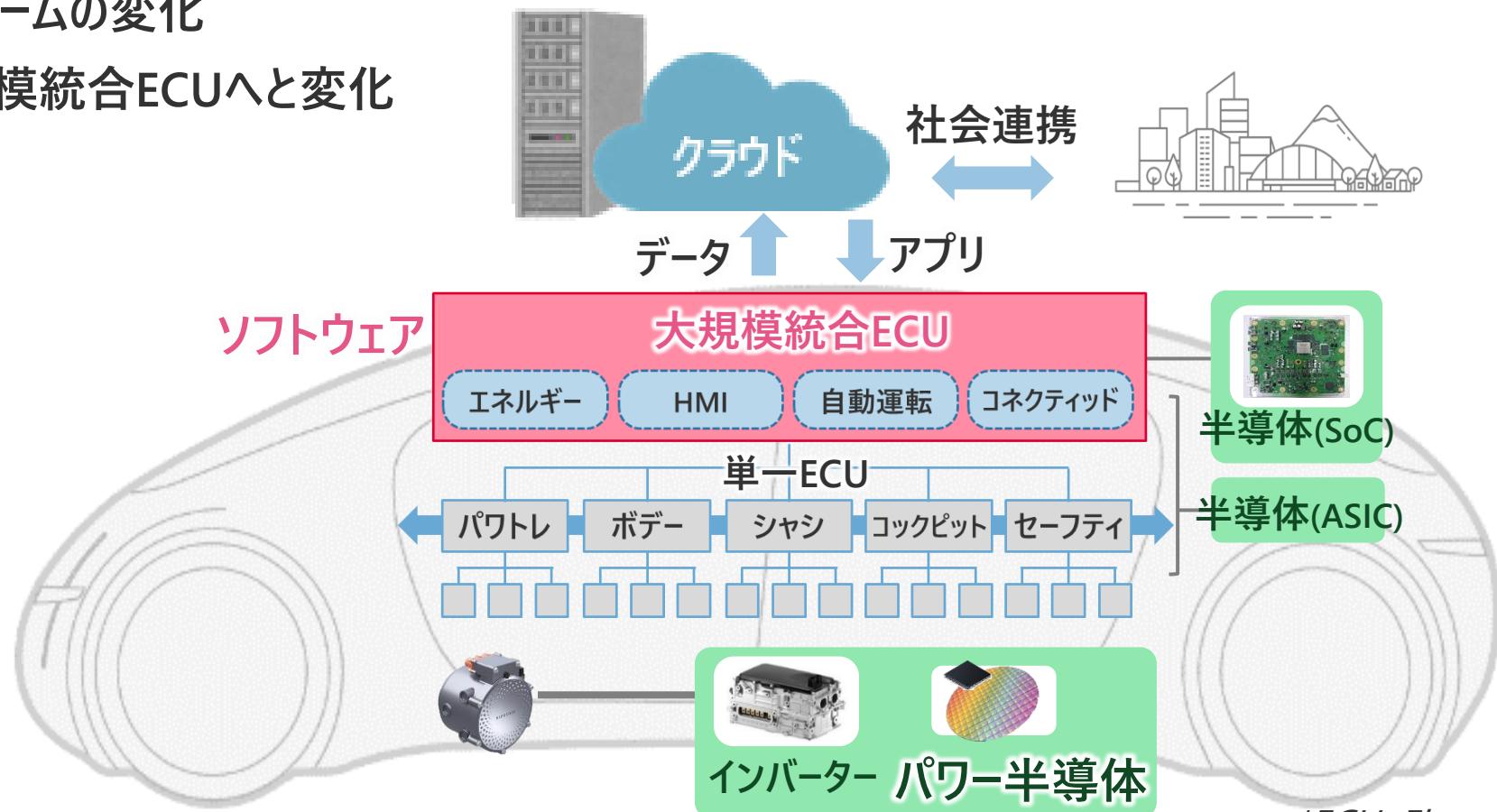
セルトングループの農業技術とデンソーの自動化・空調技術を活かし事業を食農領域に拡大

基盤技術の強化：半導体・ソフトウェア



■ 電子プラットフォームの変化

単一ECUから大規模統合ECUへと変化



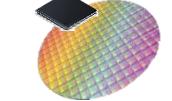
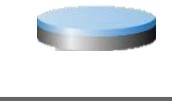
*ECU: Electronic Control Unit
HMI: Human Machine Interface

クルマが社会システムとつながるモビリティ社会において、半導体・ソフトウェアを強化



基盤技術の強化：半導体

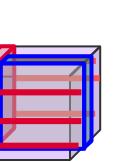
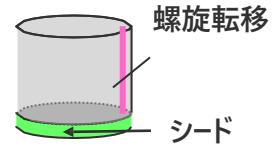
■ 電動車向け製品の構成要素

製品	
インバーター	
パワーモジュール	
デバイス	
半導体 パワー	
ウエハー	
基板	

■ 半導体ウエハーの技術進化とパートナーシップ締結

高品質ウエハー実用化

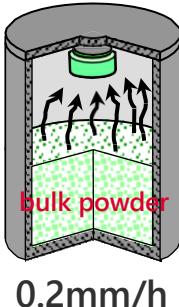
RAF法



※RAF : Repeated A-Face

昇華法

※量産化済
2200 deg.

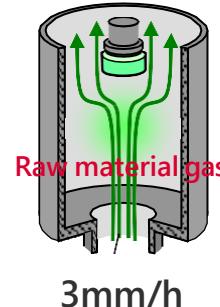


0.2mm/h

低コスト化&CO₂排出量低減

ガス法

※28年以降量産化を目指す
2500 deg.



Raw material gas
3mm/h

ウエハーコスト
現行比▲30%

CO₂排出量
現行比▲90%



RESONAC

23年3月31日
ウエハーをインバーターに採用

COHERENT

23年10月10日
ウエハー製造企業に出資

ROHM
SEMICONDUCTOR

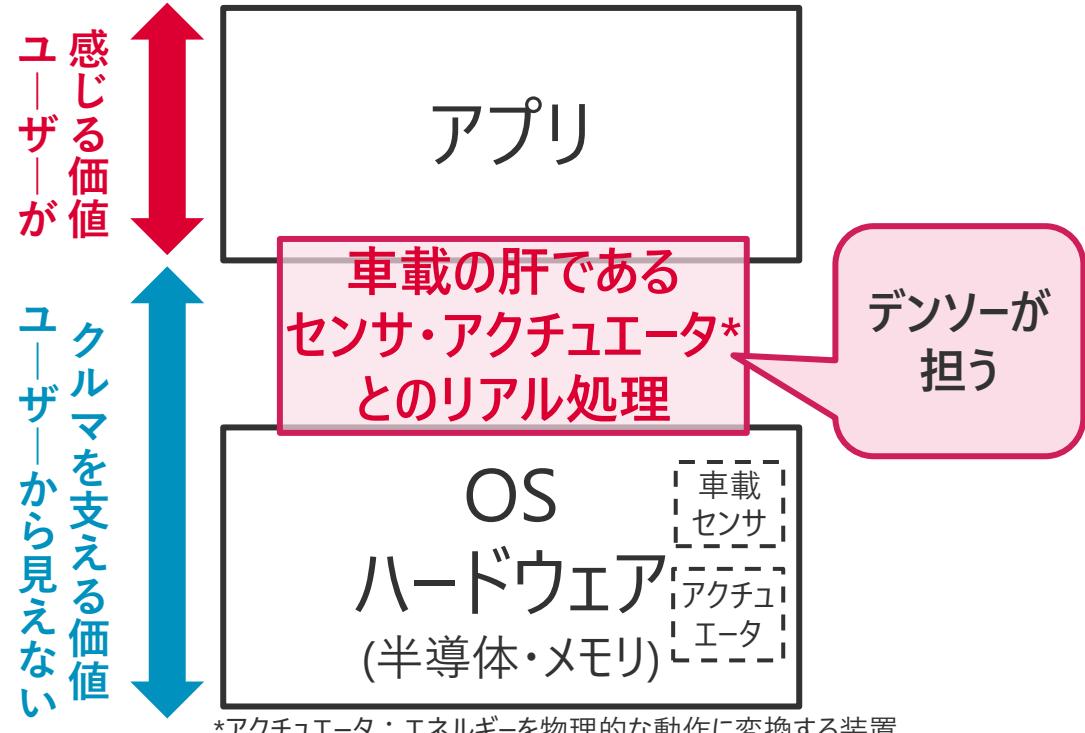
24年9月30日
半導体メーカーに出資

x15 高速成長

高品質、低成本技術の手の内化と、開発・量産パートナー連携でウエハー安定供給を確保

基盤技術の強化：ソフトウェア

■ クルマにおけるソフトウェア

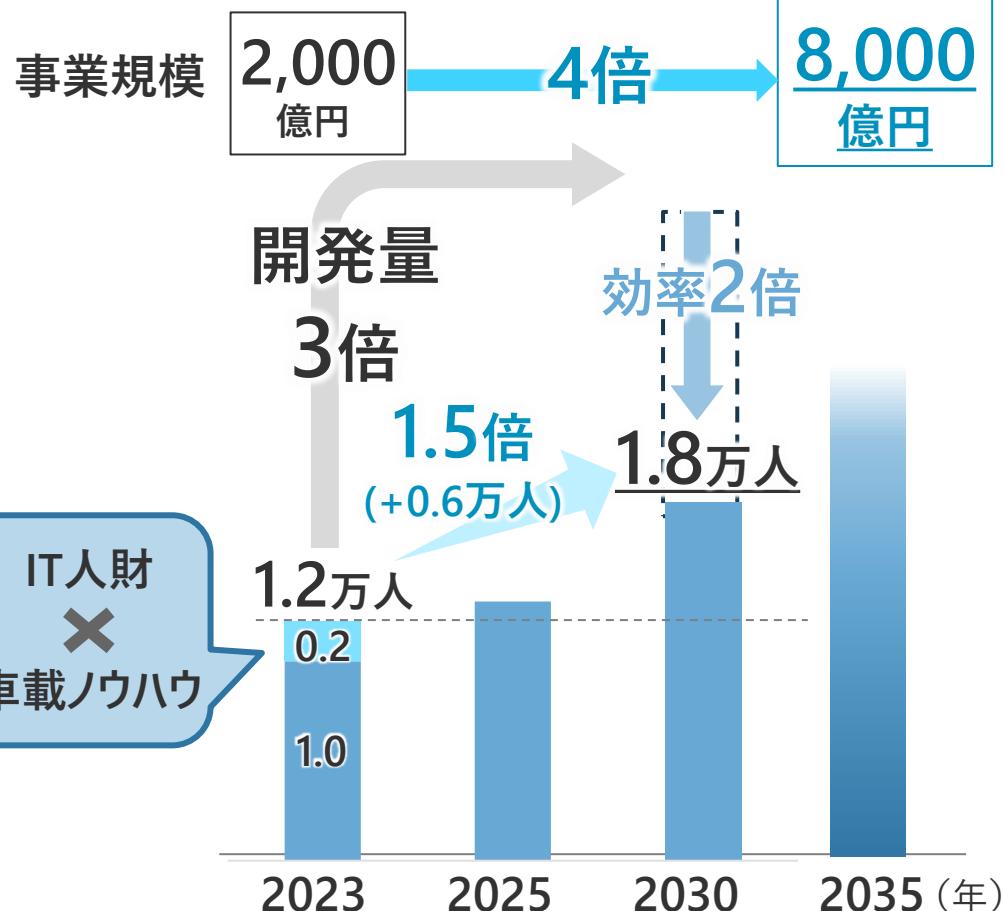


<求められる資質>

- ①命をのせる桁違いにシビアなリアルタイム性
- ②大規模・複雑化するソフトウェアを車載製品化する実装力

大規模・複雑化するソフトウェアの実装を担えるのは、ハードウェアの挙動や車載品質の技術などを熟知した当社のみ
盤石なソフトウェア開発体制に向け人財の質・量を強化し、ソフトウェア事業規模を拡大

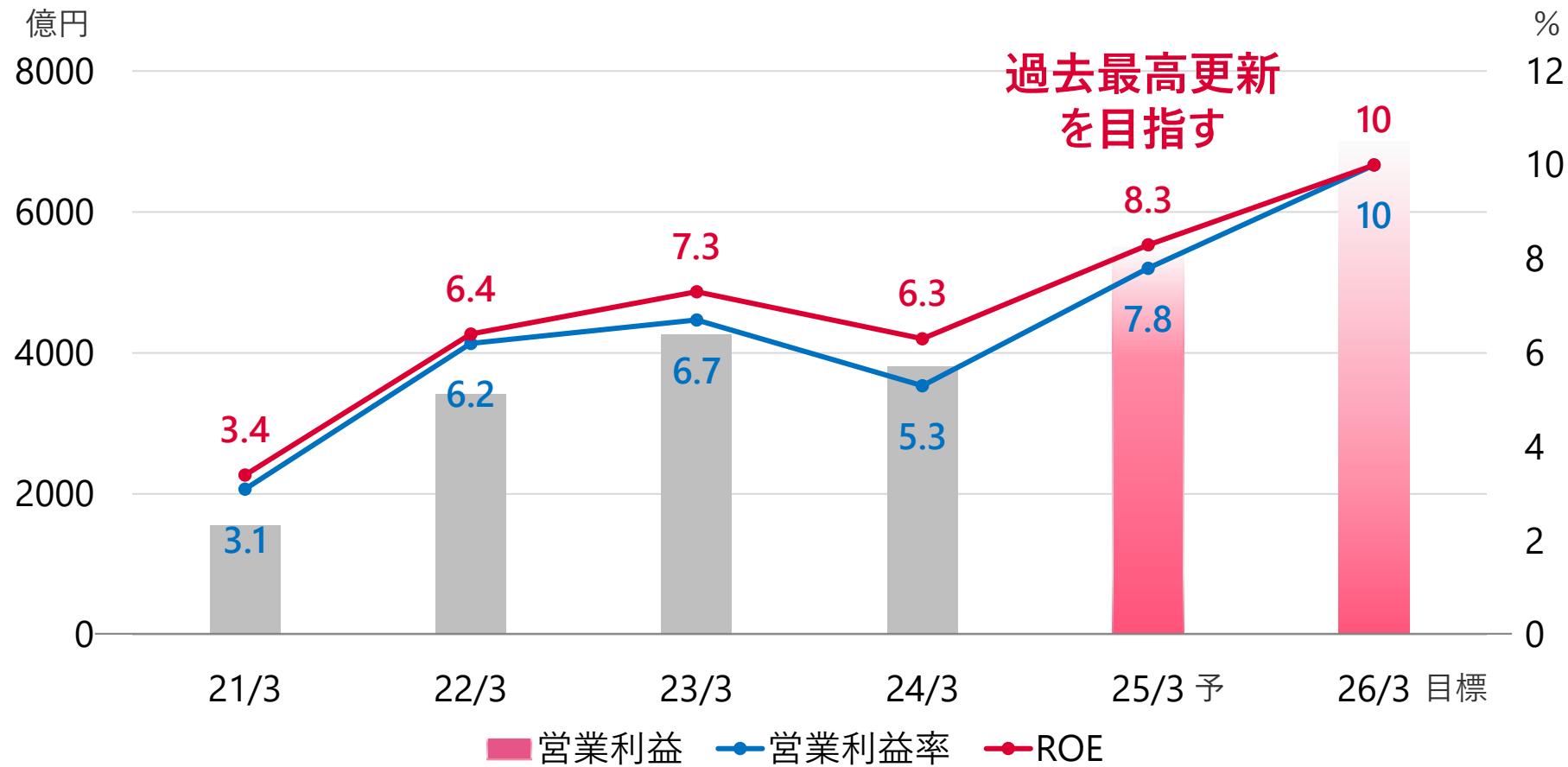
■ ソフトウェア開発の人財強化と効率化



4

業績見通しと株主還元

業績見通し（営業利益・利益率、ROE）

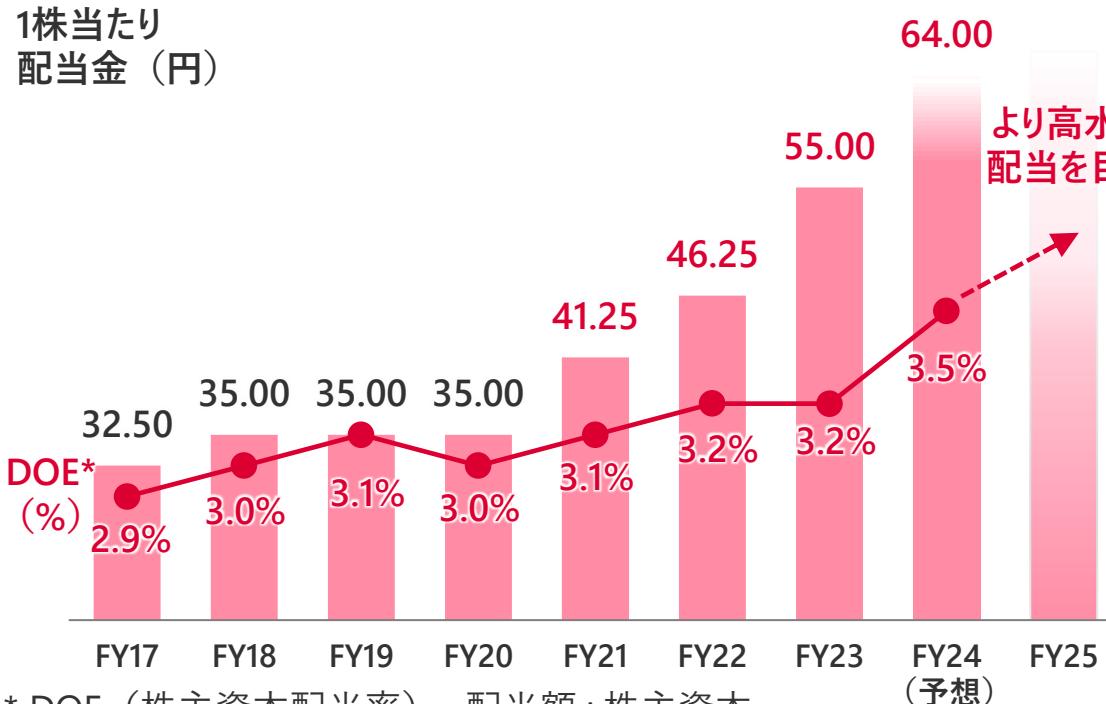


25年3月期增收増益かつ営業利益は過去最高更新を予想

株主還元（配当・自己株式取得）

配当

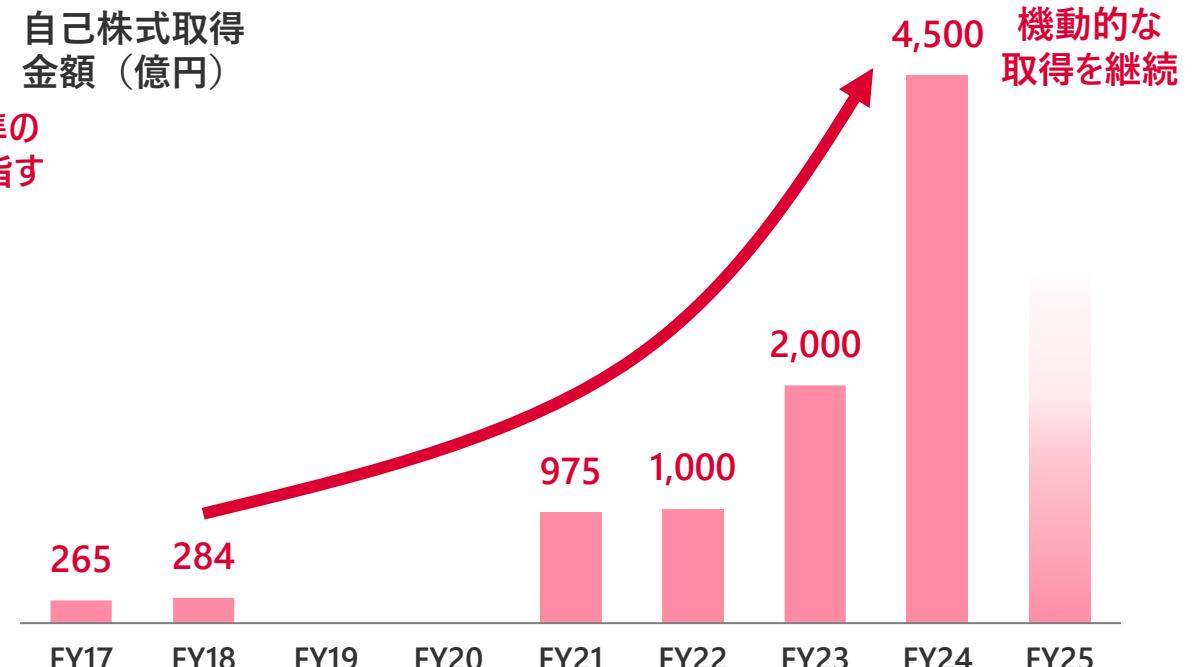
配当水準をDOE 3.0%から長期安定的な増配を実現



* DOE (株主資本配当率) = 配当額 ÷ 株主資本

自己株式取得

目指す資本構成・株価動向を踏まえ、機動的に実施



資本コストを意識した株主還元を実行・強化

株式情報



今後の成長性を期待

本日のまとめ

1. グローバルな幅広い顧客のニーズを先取りし、カタチにする総合開発力
2. 「環境」「安心」を軸に、モビリティにとどまらず価値提供範囲を拡げ、持続可能な社会の実現と事業成長を両立



5

お知らせ

お知らせ (IRメール発信)



デンソーについて 事業紹介 採用 ニュース

個人投資家の皆様へ



事業説明会

投資家・アナリスト・メディアの皆様向けの事業説明会
「デンソーダイアログデー」。

株主還元

当社株式に関する配当金の情報を掲載しています。

IRメール配信登録

投資家ニュースを電子メールでお送りしています。ご登録
はこちらからお願いします。



是非ご登録ください

お知らせ（統合報告書2024 発行）



DENSO Integrated Report 2024
MANAGEMENT MESSAGE

CEO MESSAGE

“企業の存在意義”を軸としたデンソーの企業経営
～“社会課題の解決”と“人の幸せ・成長”を目指して～

代表取締役社長 CEO
林 新之助

「企業の存在意義」
その普遍的立場に立ち返ることの重要性
社長就任から1年が経過しました。1949年の創業以来、連続と受け継がれてきた経営の神を受け取り、日々感じるのは、今日のデンソーを築き上げてきた先人たち。現在のデンソーを支えている社員、そして、すべてのステークホルダーの皆様への感謝の想いです。本当にありがとうございます。
さて、社員として2年目となる中、「企業の存在意義」という普遍的立場に立ち返り、経営の舵取りを行っていくこと、今までに大切であると改めて感じています。
今、私たちは大きな変化の中にあります。自動車業界はCASE*による転換期を迎えており、ブルマの電動化やSDV*による知能化の進展、そして、半導体やソフトウェア技術の進化により、クラムと社会がつながり、新たな価値をもたらす動きが見受けられます。さらに、社会全体に目を向けると、高度な通信技術により世界は一つにつかり、生産の進展が人々の動き方・生活様式を一変させていくことでしょう。
* CASE: 自動車業界における新規開拓領域 (Connected/カーナビゲーション/Autonomous/自動運転)/Shared/シェアリング/Automation/電動化
* SDV: Software Defined Vehicle ソフトウェア更新による車両機能の変化

このような大きな変化の時代において、スピード感を持って変化を先取りしていくことが大切であり、当然進めていくべきです。その反面、変化への適応だけに目を奪われることにより、あるいは、目の前の価値目標を失うこと、企業としての未来の目的を見失い、結果として、進歩・低迷していくリスクがあることを認識してお必要があります。日々変わっていく状況の中でも、「企業の存在意義、果たすべき目的」をぶれない軸として掲げ、その軸に沿って、経営戦略や事業方針の立案、そして、企業カルチャーの構築など、すべての企業活動に対して一貫性を持った経営を行っていくことが、今、正に重要であると考えています。

私たちデンソーの存在意義、果たすべき目的は、「環境・安心の軸で社会課題を解決する」ことです。
デンソーは創業以来、技術による大気汚染や交通事故といったクルマがもたらす社会課題に正面から向かい、課題解決のために軌道上に製品を開発し続け、広く自動車業界に貢献してきました。創業から取り組んできたメカ領域に始まり、エレクトロニクス、ソフトウェアと領域を大きくしながら、それぞれの力で磨くとともに、それらを最適なバランスで組み合わせるシステム開発力を高めきました。
これら高度で多様な技術を組み合わせシステム化する力を重い、モビリティの進化を力強くリードするとともに、モビリティとなる社会システムを実現させていくことで、脱炭素や循環経済、交通事故死者ゼロなど、複数化する今後の社会課題を解決していきます。さらに、モビリティで培った技術を、エネルギー、工場自動化(FA)、食農・安心という側面から広く社会課題の解決に貢献していく所存です。

“モビリティ”から明るい未来をつくる。
デンソーの次のチャレンジ
「環境・安心」の軸で社会課題を解決し、モビリティから明るい未来をつくりたい。デンソーが描く未来を実現するための3つのチャレンジについて、ご説明します。

1つ目のチャレンジは、モビリティの進化です。事業領域を拡大しても、モビリティ・クルマは、デンソーが貢献すべき領域であり、「環境・安心」の理念の実現を追求していきます。



統合報告書
最優良企業賞



INTEGRATED REPORT AWARD
2023



是非ご覧ください

DENSO
Crafting the Core